

組織名	東区	区長	斉藤 淑子
組織の目的・方向性	「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

東区組織目標

<p>東区では、新潟市総合計画 2030 及び東区区ビジョンまちづくり計画に基づき、「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて取り組みます。</p> <p>この方針のもと、次の5つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ものづくりをはじめとする多様な産業の魅力を活用して観光や教育に結び付けていく「産業観光」の進展に向けて、民間事業者をはじめ多様な主体と連携しながら取り組みます。 2 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。 3 民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。 4 い～てらす、わいわいひろば、こども創作活動館などの子育て支援施設の運営を通じ、子どもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。 5 良好な住環境の創出につなげていくため、市民の憩いの場やレクリエーションの場である公園・緑地を、子育て支援・高齢者支援など地域のニーズを反映しながらリニューアルします。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 民間事業者のほか、学生団体、新潟県立大学、新潟大学、金融機関、東区役所の産学官金連携のもと「東区オープンファクトリー」を開催しました。また、区内にある県立北高等学校・東新潟特別支援学校、動く市政教室などと連携し、学生や市民を対象にオープンファクトリーの見学ツアーを行うなど、多様な主体と連携しながら取り組み、東区の魅力発信に努めました。</p>				

	<p>2 自治・町内会などの自主防災組織を対象に防災出前講座を開催し、災害に関する正しい知識の習得と地域防災力の向上に努めました。また、津波発生時の到達予想時間等を記載した東区版の津波ハザードマップを作成し全世帯に配布を行い、発災時の正しい避難行動の周知・啓発を行いました。</p> <p>3 民生委員協力のもと、75歳以上の独居や高齢者のみ世帯への見守り訪問により個々の状況を把握し、介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげ、地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援しました。</p> <p>4 子育て支援施設の運営とともに、各種講座を通じて子育て世代同士の交流を促進しながら、育児の不安感や孤独感の解消に努めました。 また、情報誌（ままつぶ）の発行や東区こどもまつり、子育て3施設を巡るスタンプラリーを開催し、子育て支援施設の周知を行いました。</p> <p>5 人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化に対応し、地域のニーズを踏まえながら、令和5年度に着手した新栗の木緑地のリニューアル事業に継続して取り組み、遊具を設置したほか一部の区間に照明灯やフェンスを設置するなど整備を進めました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 「産業観光」の進展に向けて、産学官金連携による「東区オープンファクトリー」の開催を継続支援し、多様な主体と連携しながら「産業のまち東区」の認知度向上と関係人口、交流人口の拡大につなげます。</p> <p>2 防災講座等を通して、ハザードマップの見方や居住地域の正しい避難行動を学んでいただくとともに、災害に対する日頃からの備えなど防災意識向上の取り組みを継続します。</p> <p>3 民生委員・児童委員や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、継続して見守りを行っていきます。</p> <p>4 事業を通して子育て3施設が連携し、東区の強みである子育て施設の情報・魅力発信に努めます。</p> <p>5 引き続き、地域へ情報提供しながら、新栗の木緑地のリニューアル事業を進めていきます。</p>

令和6年度 東区組織目標 主な取組み結果・目標達成状況及び今後の方針

作成日	R6.4.1
評価日	R7.3.31

重点目標	担当課	各課組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
			総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R6目標	R6結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域課	ものづくりをはじめとする多様な産業の魅力を活用して観光や教育に結び付けていく「産業観光」の進展に向けて、民間事業者をはじめ多様な主体と連携しながら取り組みます。	行財3-2-③	地域団体、民間事業者、学校など連携した主体数	25者	30者	産業のまち「オープンファクトリー」	民間事業者のほか、学生団体、新潟県立大学、新潟大学、金融機関、東区役所の産学官金連携による実行委員会を立ち上げ「東区オープンファクトリー」を開催します。	○	民間事業者21社のほか、学生団体、新潟県立大学、新潟大学、協同組合新潟木工センター、榊第四北越銀行と産学官金連携のもとオープンファクトリーを開催するとともに、県立北高等学校、東新潟特別支援学校、テクノスクール、動く市政教室とも連携しながら、学生や市民を対象とした見学ツアーを実施しました。	産業のまち東区「オープンファクトリー」を通じた取り組みを継続することで、より多くの主体との協働を進めます。
2	総務課	地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。	政策13-1-①	防災出前講座の実施回数	25回	38回	防災出前講座(地域の防災力向上事業)	災害に関する正しい知識を周知し、地域の防災力向上を図るため、自治・町内会や自主防災組織などを対象に、防災出前講座を実施します。	○	能登半島地震の発生を受け災害に対する意識が高まり、防災出前講座の実施件数が増加した。災害に関する知識を、多くの方へ周知啓発することができた。	今後も継続して講座を実施することにより、防災意識の啓発を図る。
		災害に備え、津波からの避難行動を分かりやすく周知します。		リーフレットの作成	年度内に全世帯に配布	年度内に全世帯に配布	8区防災アクション2024(東区)	津波浸水想定や到達時間を表示したハザードマップや、災害時の避難行動等を掲載したリーフレットを作成し、全世帯に配布することで、防災意識の啓発を図ります。	○	東区版津波ハザードマップを6万5千部作成し(A2判)、R7年1月に全世帯に配布し、発災時の正しい避難行動の周知啓発を行った。	ハザードマップの見方や日頃から取り組むことのできる防災対策などの啓発を引き続き実施し、正しい避難行動の周知を図る。
3	健康福祉課	民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。	政策7-1-①	高齢者対象世帯への訪問調査の実施	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	高齢者見守り訪問	75歳以上の独居や高齢者のみ世帯について、民生委員による一次訪問を実施。地域包括支援センター等が二次訪問を行い、必要なサービスにつなげます。	○	8,908人に対し1次調査を実施し、2次調査対象48人を抽出しました。2次調査により、10人を介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげました。	民生委員・児童委員や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、継続して見守りを行っていきます。
4	健康福祉課	「い〜てらす」、「こども創作活動館」、「わいわいひろば」などの子育て支援施設の運営を通じ、子どもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。	政策4-1-⑤	3つの主要子育て支援施設の利用者数	20万人	202,519人	東区2km子育てトライアングル魅力発信	「い〜てらす」、「こども創作活動館」、「わいわいひろば」の連携を強化し、トータル的な企画・運営・事業展開を図り、子育て支援施設の情報発信や地域資源の活用、交流・定住人口の拡大に繋がります。	○	子育て支援施設の運営とともに講座等の実施や情報誌(ままつぶ)の発行を行いました。また、東区2kmこどもまつりや子育て3施設を巡るスタンプラリーを開催し子育て支援施設の周知を行いました。	事業を通して子育て3施設が連携し、東区の強みである子育て支援施設の情報・魅力発信に努めます。
5	建設課	良好な住環境の創出につなげていくため、市民の憩いの場やレクリエーションの場となる公園整備を推進するとともに、より多くの市民から利用されるよう、社会情勢やニーズの変化に対応したリニューアルを推進します。	政策14-4-②	リニューアル工事の施工	1個所	1個所	都市公園ストック再編事業	人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化に対応し、地域のニーズを踏まえながら、子育て支援や高齢者支援に資する都市公園へのリニューアルを行います。	○	令和5年度に着手した新栗の木緑地のリニューアル事業に継続して取組み、遊具を設置したほか一部の区間に照明灯やフェンスを設置するなど整備を進めました。	引き続き、地域へ情報提供しながら、新栗の木緑地のリニューアル事業を進めていきます。